

報告事項（１）「令和３年度事業報告」について

<法人の部>

1. 理事会・評議員会開催状況

	開催日時または 決議があったと みなされた日	主な議案事項
第1回理事会 (決議省略)	決議があったと みなされた日 R3/06/19	議案1. 事業報告事項について 議案2. 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録について 議案3. 社会福祉充実計画の策定について 議案4. 定時評議員会の開催について（日時・場所・議案の概要） 議案5. 評議員選任解任委員会の外部委員の選任について 議案6. 評議員選任解任委員会の招集について 議案7. 評議員候補者の推薦について 議案8. 理事候補者の選任について 議案9. 監事候補者の選任について 議案10. 空調機室内機の更新について 議案11. 給湯設備配管の更新について 議案12. 千葉銀行からの資金借入（5000万円）について
評議員選任解任 委員会	R3/06/19	議案1. 新評議員の選任について
定時評議員会 (決議省略)	決議があったと みなされた日 R3/06/28	議案1. 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録について 議案2. 新理事の選任について 報告1. 事業報告（令和３年度）について
第2回理事会 (決議省略)	決議があったと みなされた日 R3/7/8	議案1. 新理事長の選定について
第3回理事会	R3/11/26	議案1. 給与規定変更について 議案2. 介護リフト購入について 議案3. 適温配膳車購入について 議案4. 福祉車両購入について 議案5. 令和３年度第1次補正予算について 議案6. 新規デイサービス事業の実施について
第4回理事会 (決議省略)	決議があったと みなされた日 R4.3.31	議案1. 令和４年度事業計画について 議案2. 令和３年度補正予算について 議案3. 令和４年度当初予算について 議案4. 令和４年度契約更新①について 令和４年度契約更新②のについて 議案5. 介護リフト変更について 議案6. 第二デイサービス改修工事について 議案7. 障害者生活介護等事業所計画について 議案8. 定款細則改訂について 議案9. 役員等報酬規程改訂の件 議案10. 経理規程改訂の件

2. 監査等実施状況

調査機関	調査者	実施日	監査等内容
内部経理監査	羽鳥 裕子	R3/6/10, 9/9, 12/9 R4/3/10 (計4回)	現金、預金、通帳、寄付金品、月次試算表
監事監査	下山・上野監事	R3/6/9	理事の業務執行状況、決算報告及びその附属明細書
法人指導監査	松戸市	R3/12/25	法人運営・会計

3. 職員の状況

在籍職員 () 内は 40H 未満のパート等労働者

職員区分	年度初	退職者	入職者	年度末	備 考
介護職員 内 0～3 年 内 3 年以上	94 (18)	08 (10) 02 (06) 06 (04)	10 (06)	92 (36)	新卒 2 名
看護職員 内 0～3 年 内 3 年以上	10 (05)	00 (00) 00 (00) 00 (00)	00 (00)	10 (05)	
相談職・CM 内 0～3 年 内 3 年以上	18 (00)	01 (00) 00 (00) 01 (00)	01 (00)	19 (00)	各相談員・包括・居宅相談職
事務員他 内 0～3 年 内 3 年以上	27 (07)	01 (00) 01 (00) 00 (00)	02 (00)	27 (07)	管理職～清掃員・運転手を含む
合 計 内 0～3 年 内 3 年以上	117 (32)	10 (10) 03 (06) 07 (04)	13 (06)	120 (28)	退職率 7.4% (昨年 11.7%) ※退職者/年度末職員数×100%

※4/1 入職者は年入職者を含み、3/31 退職者は退職者を含む

※派遣職員及び委託職員は含まない。

施設見学・面接・求人・学校訪問

応募 57 名(内事務員 16 名) 施設見学者数 32 名	内求人広告 19 名 ハローワーク 4 名	学校求人 2 名採用	(松戸向陽 1 名) (沼南高柳 1 名)
面接者数 23 名	採用 21 名	不採用 2 名	
求人広告 5 回(4 社)	新聞折込 1 回	ネット 1 社	経費 150 万円
学校訪問	訪問数 1 校(高校)	求人票送付 25 校(高校)	求人票送付 14 校(専門)
求人票送付 2 校(大学・ 短大)			

4. 防災訓練・機器点検

点検項目	実施日・回数	点検・訓練内容
消防設備点検	R2/7/2 R3/4/14	消火器・スプリンクラー設備・自動火災報知設備・消防通報装置、非常警報設備、避難器具、誘導灯設備、自家発電設備等（堀内防災）
	R2/7/16	消防設備等点検結果報告
受水槽点検	R3/12/20	受水槽点検・内部清掃（エコマックス） 水質検査
浄化槽点検	2回/月/基	浄化槽メンテナンス、汚泥汲み取り（エコマックス）
	R4/3/2	浄化槽法11条検査（県浄化槽検査センター）
グリストラップ	清掃 R3/5/25、R3/7/21、R3/9/22、R3/11/18、R4/1/22	
昇降機点検	4回/年/台	機械室・かご内・乗り場・運行状況点検確認（フジテック） 本館法定点検（R3/2/19報告） 新館法定点検（R3/7/15報告）
受変電設備点検	6回/年 R3.10.24	受変電設備・発電機・コージェネ設備点検（日本テクノ） 受変電設備年次点検
特殊建築物 定期報告	R3/5/25	建築 防火設備は対象外
AED訓練		新型コロナウイルス感染予防の為、訓練用AEDの借用ができず中止
消火訓練	R3/7/15	消防署より訓練用消火器を借り、初期消火訓練を行う 参加者 11名
水害避難訓練	R3/8/19	布担架の設置場所と使い方の説明、階段を使い布担架移動訓練 参加者 16名
避難訓練・ 消火訓練	R3/11/18	避難経路の確認と効率的な避難方法のシュミレーション
		消火器の種類の説明と訓練 参加者 10名
夜間想定避難訓練	R4/2/17	夜間帯の避難方法の確認、火災報知器の操作方法説明 参加者 14名

5-1. 衛生管理

項目	実施日	内容
衛生委員会	R3.11.24 R4.2.9	ストレスチェックについて、休職者の対応について ストレスチェックの進捗状況 労災発生状況について
ストレスチェック	R4.3.5～ R4.4/12	受検職員139名 回答者123名 回答率88.5% 高ストレス者（13名/123名）9.4%
苑内受診	週1回	内科（延べ 1281人）、歯科（延べ 1218人）、眼科（延べ 162人）
苑外受診	随時	延べ 277人 聖光が丘病院（179名（前年度167名） その他（98名（前年65名））
インフルエンザ予 防接種	R3.11.29	・職員 132名 ・入居者
健康診断	R3.9/27	一般健康診断（職員 130名、入居者 84名）
		特定健康診断（夜勤者・宿直者）感染症対策のため未実施
内部研修	随時	感染症 11回、胃ろう 9回、吸引 9回、新人研修 9回
PCR検査	R3.4～R4.3	計15回実施 全員陰性

5-2. 感染症り患者の状況

罹患種別	罹患者数	備考（昨年度の状況）
インフルエンザ	職員 0名、 入居者 ショート 0名	職員 0名、 入居者 ショート 0名
ノロウイルス	職員 0名、 入居者 ショート 0名	職員 0名、 入居者 ショート 0名
新型コロナ	職員 0名、 入居者 ショート 0名	職員 0名、 入居者 ショート 0名

6-1. 会議・研修（ ）

	実施日	内 容
全体研修		各課報告、表彰、内部研修(9回開催)
パート会議		コロナウイルス感染予防のため中止（5回開催）

6-2. 内部研修（ ）昨年度

	研 修 項 目	主体	発表者
4月	就業規則の変更事項 令和3年度事業計画	総務	星
5月	明尽苑の防災体制・対策について(二時避難場所として)安全対策委員会		
6月	食中毒まん延防止研修(対策編) 正しい手洗いの方法	栄養課	
7月	コロナ感染予防のため中止		
8月	コロナ感染予防のため中止		
9月	コロナ感染予防のため中止		
10月	スピーチロックについて、虐待・権利擁護	身体拘束適正化委員会・ 虐待防止委員会在宅	
11月	防ごう！冬の感染症	看護課	
12月	コロナ感染予防のため中止		
1月	非常災害時の地域における明尽苑の役割 身寄りのない独居で認知症の方の支援 ヘルパーステーション事例発表	居宅 訪問	坂巻 吉田 額田
2月	コロナ感染予防のため中止		
3月	コロナ感染予防のため中止		

6-3 外部研修（ ）内昨年度

	名 前	日にち	研 修 名	主 催 者	研修費	本人負担
1	星野 進	5/17	Zoomを使った特別講演「食と栄養」	柏市保健所管内集団給食研究会	0	0
2	羽賀 裕子					
3	坂野 遥					
4	小林 記子	6/10~11	ユニットリーダー研修受講 オンライン	全国個室ユニット型施設推進 協議会	40,000	0
5	宇田川 優					

6	西 慶二郎	6/18	第1回安全対策体制加算対応研修会	柏市保健所管内集団給食研究会	5,000	0
7	本郷 愛					
8	加茂部 百恵	6/24~8/20 (6日間)	令和3年度千葉県介護支援専門研修	千葉県介護支援専門員協議会	0	0
9	綿貫 通浩	6/24	令和3年介護報酬改正の疑問に答える	千葉県地域ふれあいプラザ介護実習センター	0	0
10	西 慶二郎	6/30	第1回介護施設義務化研修会	全国個室ユニット型施設推進協議会	5,000	0
11	本郷 愛					
12	平井 聖良	7/8・9	ユニットリーダー研修	〃	4,000	0
13	吉田 拓也	7/21	第2回介護施設義務化研修	全国個室ユニット型施設推進協議会	5,000	0
14	永瀬 佳枝	7/14	第2回安全対策体制加算対応研修	〃	5,000	0
15	星 真純	8/5・6	令和3年度障害者生活相談員認定講習	独)高齢・障害・求職者生活雇用支援機構 千葉支部	0	0
16	星野 進	8/6	ZOOM 調理講習	千葉県集団給食協議会	0	0
17	羽鳥 裕子					
18	坂野 遥					
19	杉本 海優					
20	武田 直也	8/24	第2回ADL加算対応パーセルインデックス研修	全国個室ユニット型施設推進協議会	3,000	0
21	野口 一平					
22	平山 明子	11/4	第3回安全対策体制加算対応研修	全国個室ユニット型施設推進協議会	5,000	0
23	吉田 拓也					
24	花崎 聖久	9/8	第4回安全対策体制加算対応研修	全国個室ユニット型施設推進協議会	5,000	0
25	吉田 拓也	9/1~2 14~16 10/4~7 11/11	千葉県認知症実施者研修(実施者リーダー研修)	社団)千葉県高齢者福祉設協会	15,000	0
26	吉田 拓也	10/8~11/8	千葉県認知症実施者研修(自施設実習)	社団)千葉県高齢者福祉設協会	0	0
27	福岡 真澄	9/11	BCP作成研修(WEB研修)	千葉県介護支援専門員協議会	0	0
28	西 慶二郎	9/14	第4回ADL加算対応パーセルインデックス研修	全国個室ユニット型施設推進協議会	2,000	0
29	上田 美香					
30	坂巻 孝	9/15	第4回介護施設義務化研修	〃	5,000	0
31	坂野 遥	9/25	嚥下食から考える私達の高齢者生活	伊那食品工業(株)東京支店	0	0
32	杉本 美海					
33	大山 朱音	9/13・17	令和4年度千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修	社団)千葉県高齢者福祉施設協会	1,000	0
34	多治比 津多恵	9/23~ 11/29(8日間)	2021年度千葉県主任介護支援専門員更新研修	特定非営利活動法人 千葉県介護支援専門員研究協会	47,400	23,700
35	尾島 玉実	9/30~10/1	ユニットリーダー研修受講(オンライン)	全国個室ユニット型推進協議会	40,000	0
36	綿貫 通浩	10/11	BCP作成研修 web研修	(株)トーカイシルバー事業本部営業推進企画室	0	0
37	菅原 みゆ	10/21	介護の為の医学知識研修(ZOOM)	社団)高齢者福祉協議会	0	0
38	上田 美香	10/29	LIFEに特化した研修	千葉県高齢者福祉施設協議会 千葉県デイサービス協会	2,000	0
39	上田 美香	10/30・ 11/6, 11/20	介護福祉士実習指導講習会(ZOOM ミーティング)	松戸認知症コーディネーターの会	30,000	0
40	平山 明子					

41	花崎 聖久	12/21・23	令和3年千葉県高齢者権利擁護 身体拘束廃止研修	社団)千葉県高齢者福祉施設協会	2,000	0
42	吉田 佳代子	12/13	介護支援専門員 研修過程 I	介護支援専門員協議会	43,280	21,640
43	塩田 充	12/13	第2回介護施設の職場活性化に向けて	令和3年度「専修学校リカレント教育総合合格推進プロジェクト」	0	0
44	本郷 愛	R4.1/17				
45	綿貫 通浩	R4.1/12~3/18(12日間)	居宅介護支援の虐待防止の対応について	社団)千葉県高齢者福祉施設協会	0	0
46	加茂部 百恵	R4.1/21	2021年度千葉県主任介護支援専門員研修	特定非営利活動千葉県介護支援専門員研修協会	0	0
47	福岡 真澄	R4.1/21	松戸市地域連携講演会(ライブ配信)	松戸市医師会	0	0
48	室田 佐枝子					
49	綿貫 通浩	R4.2/15	令和3年度介護支援事業者研修会	松戸市 介護保険課	0	0
50	福岡 真澄					
51	多治比 津多恵					
52	吉田 佳代子					
53	平野 渚					
54	室田 佐枝子					
55	西 慶二郎	R4.2/8~9	実務者研修教員研修会	全国個室ユニット型施設推進協議会	0	0
56	本郷 愛					
57	塩田 充					
58	福岡 真澄	R4.3/4	令和3年介護支援専門員研究会	松戸市介護支援専門員協議会	0	0
59	綿貫 通浩	R4.3/4	令和3年度成年後見人制度市民向け勉強会	公益社団法人 成年後見センター	0	0
60	福岡 真澄					
61	多治比 津多恵					
62	吉田 佳代子					
63	平野 渚					
64	室田 佐枝子					
65	塩田 友美	R4.3/18	通所介護事業経営者向けオンライン勉強会	(株)オーボックス	0	0
66	上田 美香					
67	福岡 真澄	R4.3/10	介護・福祉 2つの制度を超えた「8050」意見交換会	(株)リノキノ	0	0
68	多治比 津多恵					
計	平野 渚					
	109回(延べ68人)					0
			109回(延べ68人)		264,600	45,340

喀痰吸引

1	宮本 千帆	10/20~	喀痰吸引研修	(株)プレゼンス メディカル	0
2	上田 美香				
3	宇田川 優				
4	小林 記子				
5	野辺 つかさ	12/7~	喀痰吸引研修	(株)プレゼンス メディカル	0
6	菅原 みゆ				
7	花崎 聖久	R4.2/2~	喀痰吸引研修	(株)プレゼンス メディカル	0
8	鱒渕 洋子				
9	大山 朱音				

10	額田 優	R4. 2/2～	喀痰吸引研修	(株)プレゼンス メディカル		0
11	甲斐 緑	R43/18～	喀痰吸引研修	(株)プレゼンス メディカル		0
12	入江 真純					
13	飯塚 美優					
14	高橋 真由美					
15	松永 紘樹					
		計 15 人			1,053,000	0

7. 実習生受入状況

受入れ元	実習名	研修日	人数	期間
松戸向陽高校				
福祉教養学科 1年	デイ介護実習	6/16	3名	1日間
福祉教養学科 2年		7/26	2名	1日間
福祉教養学科 3年	特養介護実習	10/1～21	3名	15日間
福祉教養学科 1年		10/25～27	3名	3日間
福祉教養学科 1年		11/1～22	3名	15日間
ユニットリーダー研修				
全国個室ユニット型施設前期実習 ユニットリーダー研修			0名	
十文字学園女子大学				
臨地実習	栄養士養成	9/1～9/14	2名	10日間
		9/27～10/1	3名	5日間
		10/4～10/8	2名	5日間
		10/11～10/15	2名	5日間
		10/18～10/22	2名	5日間
		11/1～11/5	2名	5日間
		11/15～11/19	2名	5日間
おおたかの森専門学校				
介護実習	デイ・特養	8/2～9/4	1名	17日間
社会福祉士実習		9/6～24	2名	13日間
		2/24～3/19	1名	17日間

8. ボランティア・慰問の活動状況

	ボランティア	慰問
活動状況 () 内昨年度	延べ 人 (延べ 2 人)	団体 延べ 回 (1 団体 延べ 1 回)

※ボランティア、慰問団体の活動はコロナ感染症への対策として受け入れを中止致しました

<各事業所の部>

【特別養護老人ホーム 介護課】

令和3年度は、運営方針に則り下記の内容を中心に取り組みを実施した。また、地域密着型特別養護老人ホームは、ユニットリーダー実地研修施設の実習施設となることを目標にチャレンジし、指定を受けることができた。

【感染への取り組み】

- 1, 入館前の手洗い、勤務前・後の検温、マスク着用等の基本的な予防策の実施、定期的な施設関係者へのPCR検査、感染状況等に応じた面会・外部の方の入館の制限、10時・15時の換気及び手すり等の消毒、夜間の手すり消毒、各部署 AirDog の配置、月1回(必要に応じ複数回)の感染予防委員会での対応の協議等を実施することにより、新型コロナウイルス感染症は勿論の事、感染症の発生を防ぐことが出来た。これに関しては、令和4年度も実施をしていくこととする。
- 2, 新型コロナウイルス感染症の早期発見に力をいれるべく、情報収集の強化、疑わしい際の判断として入館前に抗原検査を実施している。

【その人らしい生活への取り組み】

- 1, 常に理念を意識できるよう、また、理念に基づいた支援を心掛けられるように努め朝礼時理念の唱和、年2回のフィードバック時には、施設長より理念に基づいた問いかけを行い意識を高めた。その結果、どの職員も理念を唱和することができ、「その人らしい生活」を念頭に置きながら支援を検討していく事ができた。
- 2, 「その人らしい生活」を実践していく為、情報収集の重要性を学び情報収集に努めた。
- 3, PDCAのサイクルがより充実したものとなるよう、情報収集・アセスメント・プラン立案等の連動の仕組みの理解に力をいれ、職員研修等で1年間取り組みを実施した。
- 4, LIFEの活用を視野に入れ、それぞれの帳票の作成・情報収集等を行いLIFEへの情報提供を実施した。今後は、LIFEからのフィードバック事項を活かしていけるように努める。
- 5, 記録のシステムを導入し1年が経過した。様々な機能を活用し、記録時間の短縮、24時間生活リズムシートの内容の充実等に繋がっている。まだまだ活用できる場所があり、担当者を中心に把握し、より活用していけるよう努めていく。

【最期の時の為(看取り)への取り組み】

- 1, 入居時より、最期の時をどのように迎えていきたいかを考える時間を以てもらえるよう、働きかけを行っている。その為、変化が見られてきた際に、その方にとってより良い最期の場所、過ごし方を中心に考えて居場所を決定してもらえることが増えている。
- 2, 些細な変化に気づき、早めに主治医と相談、家族への相談を実施看取りに向けての体制や環境作りをできるよう努めた。コロナ禍の中においても、看取りの方に関しては、御家族様の面会を実施し最期の時間を共有して頂けるようにした。

【技術・知識の習得】

・令和3年度は、毎週金曜日の職員研修を定着させ9月からは隔月から毎月を増やし『口からの食事』『トイレでの排泄』『個浴の意義』などユニットケアの質の向上につなげるべく、学ぶ機会を作り職員の意識向上、知識向上に努めた。
・地域密着型特別養護老人ホームの実習施設へのチャレンジを学び、質の向上の機会とし12ユニット全体で研修を行った。そこから得た課題も多くあったが自分たちに不足している物が理解できた。来期は改善へと繋げていく事を課題としたい。

【情報の共有】

・他職種が参加する会議(カンファレンス・ケース検討会議)を定期開催する事で特養全体の情報の共有や課題意識の共有を行う仕組みができた。今後は継続していく事とユニット職員が実際のケアに活かせるよう進めていく。

【生活リハビリ】

・生活リハビリに関しては、まだまだ取り組みが少ない。職員の意識改革から進めルールとして職員が生活リハビリを取り入れられる工夫などを行っているが、来期はPDCAサイクルに組み込み情報の収集から実施、記録、評価が継続して行えるような仕組みを考えていく。

【感染症対策】

・職員の施設内の動きをフロアに限定していく事で、万が一の際にも感染症が広がらないように努めた。また入居者の体調確認に力を入れ一日3回の検温、発熱者への感染対応なども迅速に行えるよう周知徹底した。

【特養役職者】

1. 一人一人が理念を覚えることが出来ている。今後は、それを意識して具現化できるように進めていく。マニュアルの改訂は行う事ができなかったが、マニュアルに新しく取り入れたいと考えていた「プライバシー」、「その人らしさ」についての勉強会を行うことができた。
2. コロナ禍ではあったが外部研修や内部研修を多く取り入れ、知識習得ができた。又、得たものを現場での実践に繋げることができた。ユニット別のトレーニングシートの更新など活用しきれていないものもあるので活用方法の見直しを行う必要がある。
3. 入浴用リフトに関しては本館も来年度、導入することが決まり、より安全・安心な支援を心掛けるように努める。その他の福祉用具の情報量が少なかったので、情報に触れていく努力が必要である。
4. ユニットケア委員会が中心となり研修を行い、知識・技術の向上に努めることができた。だが定期的な会議の開催などの委員会運営ができていなかった。来年度は計画的に進める。
7. 入居者の情報収集に関しては聞き取りシートの見直しを行い、活用することができた。また知り得た情報をケアに繋げることもできた。
8. 職員間の連携に関しては、まだ改善が必要だが、ユニットから相談員へと連絡体制が定着してきている。他施設の情報も取り入れていく事は出来ていなかった為、来期の課題としたい。
9. ユニットからご家族様に、情報発信をすることはできなかった。入居者の活動としてはクラブ活動として各フロア毎に限定し感染予防に配慮しながら、フラワーアレンジメント、書道、花植えなどを行うことができた。
10. 入居者の体調確認に力を入れ一日3回の検温、発熱者への感染対応なども迅速に行えるよう周知徹底した。
11. 生活リハビリについてはまだまだ取り組みが必要。普段の生活をする事が生活リハビリである意識がまだ浸透しきれていない。来期、力を入れていくべき目標とする。
12. 理念を基に勉強会を実施することができた。まだまだであるがリーダー、フロア長のスキルアップに繋がった。今後は役職者が発信し、現場職員に伝えていくことが必要。各課とは、カンファレンス会議を行うことで情報共有などが行うことができた。

【特養看護課】

- 1-① 「その人らしい生活」の継続の為、日々他職種との情報共有を通じて専門職とし健康維持、介護職のサポート、看取り対応に繋げていった。
- 1-② 常に入居者様の目線に立ち、よりよいコミュニケーションを心掛けるようにしていたが業務の中では看護師目線の行動もあり反省すべきことであるため今後も継続していく。
2. コロナ禍の中での外部研修の参加はできなかった。
オンライン研修にはもっと積極的に参加できるよう環境整備をしていかななくてはいけなかった。
そのような状況の中でユニットリーダー研修、医療的ケア指導員の研修受講、スキルアップ、ケアの向上につながった。
3. 福祉用具の選択には積極的に関わることができなかった。一人ひとりにあった福祉用具を取り入れることによって慣れた生活場所での暮らしを続けられるよう今後は他職種と協働していく。
4. 日々の生活の中、給食委員会を通して介護職、栄養課と情報共有、ラウンドを行い「食の楽しみ」を一人でも多くの入居者様に感じてもらえるように協働に努めた。
5. 安楽な排泄と便秘に伴う苦痛を軽減できるよう日々の排泄の観察と対応、排便コントロールを積極的に実施、必要に応じて往診時に検討、処方等に繋げていった。
6. 安心、安楽で心地よく感じられる入浴の為に適宜、介護職員と支援できた。
7. 「高齢者だから」、「認知症だから」という固定観念にとらわれることなく、一人ひとりの自己を尊重し「あなたらしい生活」の日常生活の場を他職種と共に支援してきた。
8. 限られた時間内、場所の提供の中で家族との交流実現のために積極的にワクチン接種の実施。第3回目迄終了している。
9. 入居者様の日々の身体状況を把握、必要な情報は相談員と連携しご家族様へは速やかに発信できた。
10. 感染症対策の徹底、毎日の体調確認の実施、体調不良者の抗原検査の実施による感染者の早期発見、対応から発生予防につながり施設内感染者の発生はない。
11. 感染症対策予防の徹底、定期的なPCR検査の実施、体調不良時の抗原検査の協力、体調管理により職員、入居者様の感染者は無く、ご家族様にも安全、安心を届けられていた。今後も継続実施とする。
12. 「高齢者だから」、「認知症だから」「障害があるから」ととらえることなく自分の能力を活かしつつ一人ひとりに合ったペースを保ち、あなたらしい生活が継続できるよう見守っていた。

13. 他職種、ご家族様との連携し、情報共有の中から一人ひとりの思いをかなえられるような支援を継続、最期まで施設看護師としての役割を果たした。

【特養栄養課】

- 1-①個々の利用者様との関わりや食事内容を検討する機会毎に課内で意見交換を行い、その際理念に基づいて考えるということの基本として行った。
- 1-②入居者様から直接ご要望を伺うだけでなく、他職種や記録からも情報収集を行い、可能な限り個別対応を実施した。
- 1-③各ユニット毎月1回ずつの昼食作り、2階、3階、別館に分かれて毎月1回ずつのおやつ作りを行い、楽しめる場、役割や交流を持てる場を提供を行った。
2. 特連協栄養士ネットワークや集団給食協議会の研修に参加しました。参加した内容は課内で共有し、栄養課職員全体のスキルアップに努めた。
3. 新しい製品や栄養に関する情報収集を行い、入居者様に提案及び提供を行った。
- 4-①嚥下食についての知識の習得や食事提供は行っていますが、直接食事の支援に関わることがまだ出来ないスタッフがいる為、経験を積んで実施できるように努力する。
- 4-②毎日情報収集を行い、各課と連携しながら安全な食事摂取、低栄養・疾患の悪化防止に努めた。
5. 食物繊維の粉末、ヨーグルトやヤクルト、オリゴ糖など、それぞれの入居者様に合わせた対応を各課と連携して行った。
7. 入居者様お一人お一人とお話し、好みやご意向の把握に努めました。また、食事時間のラウンドや他職種から情報収集を行い、よりその方に合わせた食事提供が行えるように努めた。
8. 明尽苑便りやホームページにご様子が掲載できるよう、写真撮影を行った。
9. 状態の変化があった場合には、他職種と連携し、早めに相談員からご家族様へ伝えて頂けるように情報共有を行った。
10. 感染状況や感染予防についての情報収集及び栄養課内での情報共有を行い、健康管理、感染予防に努めた
11. 個々の入居者様の残存機能や状態の把握を行い、その方に合わせた食事提供、食事環境、支援が行えるように努めた。
12. 御家族様、入居者様のご希望を伺い、安全面に配慮しながら、最期まで経口摂取ができる方法の提案を行った。

【特養機能訓課】

1. 理念や老人福祉法第33条を踏まえその人らしい生活ができるよう念頭に置き、業務にあたる事ができた。
- 2-① 内部研修の参加はもとより、外部研修(LIFEと疼痛関連)にも2回参加できた。
- 2-② 全体会議内での研修の担当はなかったが、金曜日研修にて機能訓練の研修を担当した。
- 3-① 車椅子を初めとした福祉用具の確認は全入居者様をひと通り対応できたが、頻度は他の業務の影響で少なくなってしまった。今後もできるだけ対応したい。
- 3-②新型コロナウイルスの感染状況により、福祉用具の展示会には行く事ができなかった。今後の感染状況を見ながら検討したい。
4. 集団体操や個別機能訓練にて、摂食動作を改善する内容を取り入れた。
5. 集団体操や個別機能訓練にて、座位保持やズボンを上げ下げする動作を改善する内容を取り入れた。
6. 集団体操や個別機能訓練にて、上肢下肢の可動域を改善する内容を取り入れた。
7. 定期的な評価を欠かさず行う事ができた。またリーダー会議やカンファレンスに出席し情報収集に努めた。
8. 新型コロナウイルスの感染状況によりイベントや慰問の中止が相次いだ。急変を除きADLが大きく低下した入居者様はほぼおらず機能訓練や生活リハビリの良い影響があったと思われる。
- 9-① 明尽苑便りへの掲載が1度あった。
- 9-② 体操の動画の撮影は思ったより準備が困難で、年度内の作成には至らなかった。しかし作成に向けて準備を継続しており、近々撮影する予定である。
- 10-①機能訓練中やその後の感染予防対策は変わらず継続できている。消毒チェックシートも変わらず作成した。
- 10-②感染予防委員会には1度私用にて欠席したものの、ほとんど参加できている。
- 11-① 生活リハビリ通信は月2回発行しているが、ブルーオーシャン導入時期に対応に追われる等で

休載する事もあった。今後も継続すると共に内容の質を高められるよう努めたい。

- 11-② 生活リハビリは概念が特養でまだ定着には至らず、今年度の課題の1つであると共に今後も普及に努めたい。
- 12-① 定期的な個別機能訓練計画書の作成時には、いつもその人らしさを踏まえた上で作成に当たっている。
- 12-② 単独で機能訓練会議を開催する事は介護現場の負担となってしまう為、代わりにリーダー会議に出席して情報共有している。この形で今のところ支障はないと思われる。

【特養相談員】

- 1. 入居面接の際にどの様に過ごしていきたいか、またどのように過ごして欲しいと考えているか事前にご本人、ご家族様の意向確認を行い入居に繋がられた。
- 2. 入居前から密に連絡を取りご家族様との関わりを深める事が出来た。
- 3. 時間を置かずに、現状報告を行い苑での生活をお伝えする事が出来た。
- 4. 入居前の情報収集の他、入居後も嗜好品等に関して確認を行い情報共有を行った。
- 5. 便秘の症状や体調不良時にメカニズムについてお伝え出来た。
- 7. ご家族様のツールに合わせ連絡をとり関わりをもつ事が出来た。
- 8. ご家族様のツールに合わせ苑でご様子をお伝えする事は出来たが、コロナ禍で面会ができず、ご家族様の満足する時間は過ぎて頂く事は出来なかった。
- 9. クラブ活動の様子を定期的に報告する事が出来た。今後も継続出来る事を目標とする。
- 10. ご家族様に苑での取り組み、経過報告を行いご家族様に連絡をとる都度、体調や代わりが無いかと声かけを行う事が出来た。
- 11. 残された力がどれだけあるのか日々の生活に当て嵌めお伝えする事が出来た。
- 12. 意向確認を来ない、ご家族様の気持ちに寄り添い、現実を受け入れ、不安が少しでも軽減できる様お声掛けさせて頂く事が出来た。

月間利用者状況(広域型)

	入居	退居(死亡)	お看取り	総人数	稼働率
令和3年4月	2	3	2	2.046	97.4%
5月	2	3	2	2.068	95.2%
6月	3	1	1	2.048	97.6%
7月	1	0	0	2.151	99.1%
8月	0	1	1	2.088	96.2%
9月	1	0	0	2.034	96.9%
10月	0	2	0	2.075	95.6%
11月	1	0	0	1.947	92.7%
12月	3	4	0	2.053	94.6%
令和4年1月	1	3	3	2.051	94.5%
2月	2	0	0	1.867	95.3%
3月	1	1	0	2.061	94.9%
合計	17	18	9	24.489	95.8%

年齢別構成(広域型)

	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	合計(69名)	平均(89.4)
男性	0	0	1	1	2	4	6	14	87.4
女性	0	1	2	3	5	13	31	55	89.9

要介護度(広域型)

	男性	女性	合計
要介護度1	1	0	1
要介護度2	1	7	8
要介護度3	9	24	33
要介護度4	6	30	36
要介護度5	2	15	17
合計	19	76	95

月間利用者状況(地域密着型)

	入居	退居(死亡)	お看取り	総人数	稼働率
令和3年4月	1	3	1	838	96.3%
5月	2	0	0	814	90.5%
6月	3	0	0	848	97.4%
7月	1	0	0	897	99.7%
8月	0	1	1	872	96.9%
9月	1	1	0	840	96.5%
10月	2	1	1	877	97.5%
11月	0	3	2	805	92.5%
12月	1	1	0	852	94.7%
令和4年1月	1	2	1	820	91.2%
2月	1	4	1	730	89.9%
3月	0	0	0	807	89.7%
合計	13	16	7	10,000	94.4%

年齢別構成(地域密着型)

	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	合計(26名)	平均(84.5)
男性	0	0	1	1	1	2	0	5	81.2
女性	2	0	1	1	3	5	9	21	85.2

要介護度(地域密着型)

	男性	女性	合計
要介護度1	0	0	0
要介護度2	0	3	3
要介護度3	1	7	8
要介護度4	4	8	12
要介護度5	0	3	3
合計	5	21	26

【特養介護支援専門員】

ケアプラン更新時・体調の変化があった時・退院時など必要な時にはアセスメントを行い、情報収集と課題抽出を行った。コロナウィルス感染予防の為、照会での担当者会議を行い原案を多職種で共有し検討し『その人らしい生活』が出来るようケアプラン作成に努めた。

ユニット職員や多職種と連携し、モニタリングを行い情報収集や意見交換をする事でケアプランの見直しと質の向上が出来、またアセスメントモニタリングからの情報収集のみではなく、日々の生活やユニット行事等を通し入居者の様々な表情や言動をケアプラン作成に活かすことができた。

ケアプラン作成だけでなく、入居者が楽しく生活できる様に施設内植物の手入れやDVDの作成など生活環境の整備もユニット職員とともにいった。

より幅の広い知識を習得し、他の職員と共有と還元していく事が今後の課題である。

【ゆりユニット】

- ① 職員同士のコミュニケーションが取れていない訳ではないが、入居者の情報共有が、行きわたっておらず。休日明けに知らない情報が沢山あったり、出勤前に記録を参照していない職員も多く見られた。ノート、申し送り表の活用も出来ていなかった。
- ② ユニット会議などで、それぞれの職員が支援の意見を出しあう事は出来ていたが、その方の出来る事などを活かした取り組みに関しては、清拭畳みばかりになってしまっている。
- ③ 本人の望むことは何なのか、意見を出し合い、考え支援に繋げていくことが出来た。
- ④ 余暇の時間など、ボール投げなどを行い笑いあえる時間を持つこと、マロンのパンなど好きな事への定期的な誘導を行う事は出来ていた。だが、まだまだ楽しみを見つけ出す事が出来ていない。今後は入居者が望む生活が出来るよう取り組んでいく。

【こすもすユニット】

- ① 傾聴を心掛けているが、その方が何を伝えたいのかを汲み取れていない部分もあり、どのようにアプローチしていけば、その方の伝えたい事がくみ取れるかは今後も継続して課題としていきたい。
- ② 職員全員心掛けて挨拶ができたことで、入居者様同士も挨拶をかわすようになった。
- ③ ノートを使う職員に限られており全員が行えなかったことや、文章では難しく理解できない職員もいた。また伝わっていない情報などもあった事から、どうすれば全員に伝わるか考慮し来期も継続目標としていく。

【すずらんユニット】

- ① 食の楽しみを提供していく取り組みとして、昼食作りのメニューには、旬の物を出せるように工夫した。しかし、麺類を希望される方が多く、麺のメニューばかりになっていた。今後はもっと工夫していきたい。
- ② お手伝い出来る方が少なく、一人一人の役割を上手く見出す事ができなかった。次年度は、出来る範囲の中での役割を見つけていく。
- ④ ユニット環境に植物を取り入れる事は出来ていたがベランダなどの外の環境にも目を向け植物を活用していきたい。

【あじさいユニット】

- ① ユニット会議や毎日の支援方法に対する意見交換時には、入居者主体であること確認しながら進めることができています。
- ② その人らしい個性を大切にしながらの生活が実現出来ている。今後も個人の生活リズムを守るように努める。
- ③ 良くも悪くもスタッフ同士のコミュニケーションは取れており、各自が自分の意見をきちんと伝える事は出来ている。今後は馴れ合いの関係性にならない様にしていきたい。

【すいせんユニット】

- ① 前期は職員の数も少なく、業務に追われることが多かった為、入居者様と関わる時間が作れず意向の確認、楽しみを提供することができなかった。後期では、職員の数も増え聞き取りシートを活用し入居者様の好み、嗜好を知りその人にあった楽しみや余暇の提供ができた。
- ② 上記同様前期では職員の数も少なく、企画を立てること、実行することができなかった、後期はカラオケ、PMに他ユニットと合同でおやつ作りをする等入居者様が楽しめる企画をたて実行することができた。

【さくらユニット】

- ① 職員自ら率先して入居者様と関わりを持つ事で寄り添う支援を行えた。
- ② 以前に比べて情報共有は出来てきているが完全ではなく、今後は職員間のコミュニケーションを深めながら統一されたケアを目指す必要がある。
- ④ 業務に追われる事が多く、余暇の時間を提供出来ていなかった。日常を活かせずただ時間を費やしてしまう日が多くあった。

【なのはなユニット】

- ① 業務に追われ余暇の時間を十分に提供出来ていなかったが、苑内を散歩する事で季節の草花は感じて頂けた。
- ② 職員間のコミュニケーションについては、引き続き力をいれていく。

【すいれんユニット】

- ① 食事は美味しく、排泄はすっきり、入浴は気持ちよくという目標に関しては各職員意識して行えていた。特に排泄に関して、不要な下剤は服薬しないような意識づけができた。
- ② 余裕があまりない時期もあったが、全体的にみて入居者も職員も笑顔が多く見られたと感じている。
- ③ 一部職員は記録での情報共有の意識づけが強まったと思うが、まだ職員によっては意識が弱いと感じる。特に、字の読み書きができない職員に関しては、口頭で伝えるようにしていたが、PC やノートでの情報共有から漏れてしまうことがあり、より工夫が必要である。

【すみれユニット】

- ① 入居者の要望を聞き、コミュニケーションに力を入れる事ができた。今後も入居者の意向を重要視していく。
- ② 時間的余裕のある日には散歩やおやつ作りや風船バレー、体操などに取り組んだ。これからも意識して取り組める時間を作っていく。
- ③ 入居者の過ごしやすい環境作りに関しては、まだまだ取り組みが必要。今後もその方のペースに合った環境、安全に過ごせる居室、リビングなど考えていくように少しずつ取り組みを行う。
- ④ 職員間の情報共有に関しては今後も課題となる。連絡ノート等を活用ししっかりと行っていく。

【あやめユニット】

- ① 入居者との関わりを大切にするという目標に関しては、忙しさを理由に積極的に関わっていない部分があった。ご家族様とのコミュニケーションは面会に来られた際には、訪室し近況報告を行った。
- ② 職員同士のコミュニケーションに課題あり、取り組みを行った。時間の経過と共に、意識が薄れていく部分が多々あり、今後も努力が必要である。

【ショートステイふじユニット】

- ① レクリエーションへの取り組みを行い、実施できる日が増えた。次年度は手軽に出来るレクをユニット職員で考え計画を立て実践していく。
- ② ユニット内、落ち着かない時期があり、環境への取り組むが思う様に出来な部分があった。次年度は、ユニットの環境作りに力を入れ、生活の環境作りに力をいれる。

【ショートステイききょうユニット】

- ① 生活リハビリを意識して声掛けを行えるよう継続し、指導をしていく。
- ② レクリエーションや新しい試みも時間を有効に活用できず、出来ていなかった。なぜ時間がないのかアセスメントを行い実施できるようにしていく。

【ショートステイサービス相談員】

- ① 前日の送迎連絡時に最近のご様子確認をし、感染予防に努め感染症を持ち込むことなく、運営ができた。
- ② 利用様の意向にも沿えるよう要望があればケアプランの範囲内で調整を実践した。
- ③ 毎日の検温、マスク着用の促し、クリアパネルの設置等を行い感染予防に努めた。
- ④ 入所時確認事項を活用し連携を図った引き続き、連携強化に努める。
- ⑤ 送迎連絡時に「何か心配な事などありますか？」問題を聞き出せるよう声かけを行い、家族との信頼関係の構築に努めた。
- ⑦ ショートの空床・特養の空床を居室管理表で随時管理し、FAXにて連絡をし、稼働率を高められるように、努力した。
- ⑧ 新規利用者様や変化があった利用者様の情報をすばやく連絡するように、努める。

月間利用者状況(ききょう)

	延べ人数	(内ききょう利用数)	全体の稼働率	(ききょう稼働率)	空床利用率
令和3年4月	311	290	103.7%	96.7%	38.8%
5月	314	292	94.2%	94.2%	21.1%
6月	301	292	100.3%	97.3%	25.4%
7月	307	301	99.0%	97.0%	15.7%
8月	316	298	101.0%	97.0%	23.1%
9月	307	278	102.3%	93.0%	43.0%
10月	386	318	124.0%	102.5%	70.8%
11月	382	279	127.3%	93.0%	67.3%
12月	356	304	114.8%	98.1%	58.3%
令和4年1月	362	308	116.8%	99.4%	44.6%
2月	326	261	116.0%	93.0%	72.0%
3月	345	276	111.3%	89.0%	63.3%
合計	<u>4013</u>	<u>3497</u>	<u>109.3%</u>	<u>95.8%</u>	<u>49.7%</u>

月別平均介護度(ききょう)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	2.8	2.8	2.7	2.9	2.8	3.1	3.0	3.1	3.0	3.4	3.3	3.4	3.0
女性	3.7	3.7	3.4	3.3	3.4	3.3	3.3	3.2	3.4	3.5	3.0	3.4	3.4
合計	3.4	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.5	3.1	3.4	3.2

要介護度(ききょう)

	男性	女性	合計
要支援1	2	0	2
要支援2	0	44	44
要介護度1	137	42	179
要介護度2	56	150	206
要介護度3	795	1152	1947
要介護度4	353	1152	1505
要介護度5	8	105	113
合計	<u>1351</u>	<u>2645</u>	<u>3996</u>

月間利用者状況(ふじ)

	延べ人数	(内ふじ利用数)	全体の稼働率	(内ふじ稼働率)	特養空床利用率
令和3年4月	360	329	109.1%	99.6%	100.0%
5月	360	331	105.5%	97.1%	35.4%
6月	348	338	102.9%	99.1%	0%
7月	346	339	101.4%	99.4%	0%
8月	359	330	105.2%	96.8%	84.6%
9月	341	313	103.3%	94.8%	86.2%
10月	351	343	102.9%	100.6%	33.0%
11月	362	320	109.6%	97.0%	60.0%
12月	360	332	105.5%	97.4%	0%
令和4年1月	376	332	110.2%	97.4%	55.0%
2月	353	295	114.6%	95.8%	68.2%
3月	358	303	104.9%	88.9%	61.7%
合計	<u>4274</u>	<u>3901</u>	<u>106.4%</u>	<u>97.1%</u>	<u>50.0%</u>

年齢別構成(ふじ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	3.7	3.9	3.8	3.6	3.8	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0	3.7	4.0	3.9
女性	3.3	3.4	2.9	3.1	3.1	3.0	2.9	2.9	3.1	3.1	2.8	2.5	3.0
合計	3.4	3.5	3.1	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.5	3.6	3.2	3.0	3.3

要介護度(ふじ)

	男性	女性	合計
要介護度1	35	88	123
要介護度2	14	807	821
要介護度3	218	1042	1260
要介護度4	1057	451	1508
要介護度5	201	327	528
合計	<u>1527</u>	<u>2970</u>	<u>4269</u>

【令和3年度 特養職員会議実績】

会議名	実施状況	記録	参加者、
ユニットリーダー会議	毎月2回開催(計24回)	議事録あり	課長・係長・主任・副主任・ユニットリーダー・機能訓練士
ユニット会議	各ユニット毎月1回開催(計12回)	議事録あり	ユニットリーダー・ユニット職員(正・P・派遣含む)・他職種(随時)
カンファレンス	毎月2回(2ユニットづつ)開催	議事録あり	副施設長・課長・フロアー長・リーダー・看護師長・栄養課長・相談員・ケアマネ・機能訓練士
リスク防止委員会	毎月1回開催(計12回)	議事録あり	課長・係長・主任・副主任・ユニットリーダー・機能訓練士
ユニットケア向上委員会(排泄・食事・介護技術)	不定期開催(計6回)	議事録あり	主任・副主任・リーダー
身体拘束防止委員会	不定期開催(計4回) 5月・10月・12月・3月	議事録あり	副主任・委員会メンバー(フロアーごとに1名)

【令和3年度 特養職員研修実績】

開催月	研修名	担当者・参加人数	研修報告書(アンケート含む)
4月	新人研修	(担当)介護課長・各所属長 (参加職員)新入職員	報告書有
4月 ※月4回開催	記録ソフトの操作方法	(担当)課長・係長・主任 (参加職員)ユニット全職員	
6月 ※月4回開催	個浴の意義について	(担当)介護技術委員会 (参加職員)ユニット全職員	アンケート有
8月	介護記録の書き方(オンライン研修)	(担当)外部講師 (参加職員)ユニット職員	報告書有
8月 ※月4回開催	排泄ケアに関して	(担当)排泄委員会 (参加職員)ユニット全職員	アンケート有
9月	高齢者虐待防止(オンライン研修)	(担当)外部講師 (参加職員)ユニット職員	報告書有
9月 ※月4回開催	ポジショニング・シーティング・トランス	(担当)機能訓練士 (参加職員)ユニット全職員	アンケート有
10月 ※月4回開催	食事とは知る事から始めよう	(担当)食事委員会 (参加職員)ユニット全職員	アンケート有
11月 ※月4回開催	認知症・本人と家族の体験、思い(ビデオ視聴)	(参加職員)ユニット全職員	報告書有
12月 ※月4回開催	ユニットケアの理解	(担当)課長・係長 (参加職員)ユニット全職員	
1月 ※月4回開催	ユニットケアの理解・クロスオン操作方法	(担当)課長・係長・主任・副主任 (参加職員)ユニット全職員	
2月 ※月4回開催	24時間生活リズムシートの作り方	(担当)課長・係長・主任・副主任 (参加職員)ユニット全職員	
3月 ※月4回開催	リスク・マネジメント 認知症について	(担当)フロアー長・リーダー (参加職員)ユニット全職員	アンケート有

【在宅課】

①地域福祉

- (1)近隣住民の買物支援
 - (2)体操教室
 - (3)スポーツウエルネス吹矢
 - (4)近隣小学校・中学校への車椅子体験授業
- ※P. 14 地域における公益的な取り組み参照

②家族会

新型コロナウイルス感染症の影響で今年度は開催しませんでした。

1-5) デイサービスセンター (1日定員 40名予防含む)

単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業数(日)	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	309
延べ人数	771	741	725	741	753	733	735	785	694	629	622	739	8,668
延べ入浴数	771	741	725	737	738	701	706	744	672	595	594	704	8,428
機能訓練数	546	520	483	492	560	486	500	497	491	435	419	479	5,908
延べ食数	771	741	725	741	753	733	735	785	694	629	622	739	8,668
1日平均数	29.7	28.5	27.8	27.4	28.9	28.2	28.2	30.2	27.7	26.3	26.0	27.3	27.6
稼働率(%)	102	98	96	94	99	97	97	103	95	91	90	94	96

1-5) デイサービスセンター (1日定員 40名予防含む)

単位：人

※稼働率については、実績上限の29名/日として計算。

昨年度は流行した新型コロナウイルス感染症によりデイサービスとして初めて1ヶ月間事業縮小し営業を行いました。今年は感染予防に努め、自粛せずに営業する事で、昨年のような、利用者様のADLの低下や認知症状の悪化を予防する事ができました。

また、来年度は機能訓練型のデイサービス(フットネス スタジオ)を営業する事により、より一層のADLの低下や認知症状の悪化を予防していき、ご利用様が在宅生活を継続できるよう努めて参りたいと思います。

① 稼働率：当初99%を予定しておりましたが、実績として96%でした。

機能訓練型のデイサービス(フットネス スタジオ)を含め、登録人数と利用人数を増やして参ります。

② 余暇活動：昨年に引き続き、畑を借り、作物を育て、収穫・昼食やおやつお召し上がりいただきました。また、低価格での販売を行い自宅にも持ち帰ることが出来、食事の意欲や楽しむ事につながる事が出来ました。

他、曜日ごとの余暇活動を実施し一年間、継続したレクリエーションを行う事により、積極的にレクリエーションに参加するきっかけを作ることができたと感じ、来期も継続して行っていきたいと思います。

③ スタッフ：zoomなど活用し、昨年より一部職員は研修に参加する事が出来たと思います。今後、専門職としてのスキルアップや資格取得できるように、より多くの職員の研修に参加できるよう取り組みます。

デイ職員会議 ※実施月のみ記載

会議名	実施日	参加者
デイサービス会議	令和3年 4月6日 5月11日 6月11日 7月6日 8月10日 9月7日 10月12日 11月9日 12月14日 令和4年 1月11日 2月8日 8日	デイ全スタッフ

デイ行事報告

行事名	実施日	実施場所
夏祭り	8月19日(木)～8月25日(水)	地域交流スペース
敬老会	9月20日(月)	法人行事
忘年会(クリスマス会)	12月20日(月)～12月25日(土)	地域交流スペース
節分	2月3日(木)	デイルーム
いちご狩り	3月7日(月)～3月12日(土)	デイルーム

1-6) 訪問介護

① 年間延べ件数については、目標の4,560件に対し、4,391件(96%)の稼働率でした。

月 目標 380件 実績 366件 1日 目標 12.5件 実績 12.0件

介護と障がいの割合 8:2 実績 介護 3628件、障がい 763件(年目標 介護 3660、障がい

900)

② 今年度もコロナ禍の中での支援となりましたが、職員の感染者を出すことなくサービス提供を継続できたことは、スタッフのワクチン接種と日々の体調管理、感染症への意識の高さの結果と考えます。

③ 職員の接遇力、支援技術の向上に関しては定期的な研修開催や外部研修の参加が出来ず、職員一人一人のレベルアップには至りませんでした。

④ サ責の業務については、サ責が現場に入る日が多く書類の整備(定期的は訪問介護計画書作成)まで手が届かないことがあり、計画的にサ責業務を行う時間を作り書類や請求業務が勤務時間内に行えるようにできるような業務の改善が必要と感じました。

⑤ ケアマネージャーとの信頼関係構築についても、毎月定期的に営業活動を行えませんでした。

利用状況(介護・障がい)

単位:時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施 日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延べ 時間	286.8	301.0	311.8	308.2	294.9	312.3	335.1	329.3	284.1	339.7	282.3	323.4	3709.0
延べ 件数	346	360	352	364	355	373	416	400	344	351	341	389	4,391
身体 介護	140.2	137.2	138.0	139.8	135.2	142.5	153.2	153.7	140.5	193.3	136.2	144.3	1754.1
生活 援助	101.6	111.8	127.8	118.9	117.3	130.8	140.4	131.5	102.7	99.8	99.4	131.3	1413.4
総合 事業	41	48	50	46	28	30	29	34	32	26	31	37	517.0
自 費	2.3	0.5	3.5	3.4	0.0	4.1	7.4	4.8	2.8	1.9	5.2	6.0	29.5
1日 平均 H	9.5	10.0	10.3	10.2	9.8	10.4	11.1	10.9	9.4	11.3	9.4	10.7	10.1

(総合事業)

単位：実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪型Ⅰ	6	6	6	6	5	5	6	6	6	7	4	5	68
訪型Ⅱ	5	4	3	3	2	2	2	2	3	4	5	5	40
初回加算	2	3	0	1	0	0	1	1	1	3	1	3	6
処遇改善Ⅰ	11	10	9	9	7	7	8	8	9	11	9	10	108
特定処遇Ⅰ	11	10	9	9	7	7	8	8	9	11	9	10	108

(自費サービス)

単位：延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉有書運送	1	4	6	5	4	6	3	5	6	1	3	5	49
自費 (60分)	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2

(障がい福祉サービス)

単位：延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護	42	42	48	46	51	41	33	48	44	47	44	48	534
移動支援	18	21	25	21	7	24	29	16	20	18	20	10	229

ヘルパー会議・研修 (常勤・登録ヘルパー対象研修)

	内容	時間		内容	時間
4月	事業計画の説明・老計10号	60分	10月	事例検討	60分
5月	基本的態度と接遇マナー	60分	11月	家事援助技術	60分
6月	記録の書き方	60分	12月	障害の理解	60分
7月	観察・気付き・アセスメント技術	60分	1月	感染症(コロナ、ノロ)の予防	60分
8月	熱中症について	90分	2月	虐待者防止法について	90分
9月	ヘルパーの業務範囲	60分	3月	生活援助支援について	60分

1-7) 居宅介護支援事業所

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護者	135	135	132	135	141	146	147	144	147	147	156	157	1722
予防/事業	15/4	15/4	13/4	15/4	17/4	15/4	19/4	17/4	18/4	21/3	22/3	21/3	208/45
合計 () 昨年度	154 (155)	154 (156)	149 (159)	154 (159)	162 (161)	165 (159)	170 (157)	165 (161)	169 (158)	171 (157)	181 (155)	181 (151)	1975 (1888)
稼働率	85%	82%	82%	84%	89%	91%	93%	90%	92%	77%	82%	82%	84%

※ 稼働率は12月まで170人を基準とし1月以降は205人とする。(予防と事業対象者については合計を1/2で計算)

地域別

地域	占有率 (%)
金ヶ作	17.0
五香6丁目	0.6
五香7丁目	0.2

集中減算報告 (年間平均)

	占有率 (%)
明尽苑ヘルパーステーション	28.0
明尽苑デイサービスセンター	51.4
明尽苑ショートステイサービス (別館含)	85.8

相談受付件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談	6	6	6	8	11	13	11	7	9	10	9	7	103
新規	1	6	4	6	6	7	8	9	4	13	12	10	86

※相談の約 8 割が新規につながっている。

介護度別のべ人数

	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	45	35	175	506	527	406	225	86

(令和 3 年度運営方針報告)

1. 介護ソフトと連携しているスマホやタブレットの予算見積もりを出して貰いましたが1台 20 万近くかかります。使用頻度も少なくモニタリングも通常に戻っている現状から費用対効果を考慮し見送りとさせて頂きました。
2. IT 化の公的資金援助もありましたがサービス担当者会議など各サービス事業所も対面で行えるよう感染予防に努めると共に対面における面談でないと利用者の機能が低下する事が周知されており補助金の募集も見送りました。
3. タブレットを使用しての担当者会議のニーズがなく Wi-Fi の環境整備が必要なくなりました。
4. テレワークを行う状況にならず会議などでも閣議決定されていない為テレワーク時の費用に関しては見送られています。

1-8) 五香松飛台地域包括支援センター

松戸市五香松飛台地域包括支援センター運營業務委託仕様書の目的、「高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を受けることにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援すること。」に基づき業務を行いました。松戸市からの委託業務については以下の通りです。

① 総合相談支援業務

介護に関する相談：7,539 件 (25%)、健康・医療に関する相談：6,798 件 (22%)

② 権利擁護業務

虐待件数：17 件：成年後見制度につないだ件数：5 件 (本人申立 4 件、親族申立 0 件、市長申立 1 件)

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

同行訪問件数：560 件 (1 日平均 2 件) サービス担当者会議出席件数：384 件 (1 日平均 1.3 件)

④ 地域ケア会議関係業務

地域ケア個別会議開催回数：4 回 10 事例

地域ケア推進会議開催回数：2 回 事例検討から抽出された課題について地域でできることを検討

⑤ 在宅医療・介護連携推進業務

相談件数： アウトリーチ件数：1 件

⑥認知症高齢者支援

認知症サポーター養成講座開催回数：3回、認知症初期集中支援件数：1件、認知症カフェ開催回数：中止、認知症地域支援推進員：2名（プラチナカフェに選出）

⑦介護予防ケアマネジメント・介護予防支援業務

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自前	286	280	282	284	282	283	297	297	290	296	297	293	3,467
委託	196	190	194	198	197	200	211	212	208	212	216	212	2,446

⑧松戸市指定事業

介護予防普及啓発業務：32回、体操教室開催回数：26回、見守りパトウォーク：30回
 認知症予防教室内容：ウォーキング（全3回開催）、介護者のつどい回数：14回、
 運営推進会議出席回数：7事業所

地域包括 介護予防支援事業所

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防支援	286	280	282	284	282	283	297	297	290	296	297	293	3,467
昨年度	263	236	271	283	276	280	286	281	273	269	274	269	3,261
予防委託	196	190	194	198	197	200	211	212	208	212	216	212	2,446
昨年度	178	166	150	186	183	162	189	187	183	180	182	183	2,129
委託率	68.5	67.9	68.8	69.7	69.9	70.7	71.0	71.4	71.7	71.6	72.7	72.4	70.5
昨年度	67.7	70.3	55.4	65.7	66.3	57.9	66.1	66.5	67.0	66.9	66.4	68.0	65.4

10. 地域における公益的な取り組み

①お元気サロン「ラ・サンテ」※松戸市元気応援くらぶ事業

（五香松飛台地域包括支援センター隣接地にて実施）

行事名	開催日	年間実施回数	参加延べ人数
健康麻雀	毎月第1・第3月曜日	0回	0名
書道教室	毎月第1・第3火曜日	0回	0名
折り紙を楽しむ会	毎月第1・第3水曜日	0回	0名
ラ・サンテ体操教室	毎月第2・第4木曜日	0回（2部制）	0名

②明尽苑元気サポートクラブ（スポーツ吹矢）※松戸市通所型元気応援くらぶ事業

行事名	開催日	年間実施回数	参加延べ人数
スポーツ吹矢	毎週木曜日	0回	0名

③外出支援サービス

行事名	開催日	年間実施回数	参加延べ人数
外出支援サービス	毎週火・木・金曜日	0回	0名

※令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響で、全国的な緊急事態宣言等で活動を休止。高齢者が「集まる場所」として感染予防を徹底し活動再開の目途が立たず、休止の状態でした。来年度は、新型コロナウイルスワクチンの接種状況や感染対策等の動向を見ながら再開を目指します。

④地域との関わり

行事名	開催日	概要
金ヶ作小学校車椅子体験	R3/10/5	5年生約30名を対象に体験授業 職員3名参加
金ヶ作自治会館大掃除	R3/12/28	地域への奉仕活動として実施

事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細は作成していません。

社会福祉法人 聖心会
理事長 星 野 進